

“十分な補償と 工場再建を”

日窒労組がチラシ

合化労連日窒労組（横田重信組

会長）は二日「チツソは十分な補償をし、市とともに榮える会社になつてほしい」との見出しでチラシを発行、市民にPRした。

チラシの内容によると「水俣病の原因が会社の工場廃液にあることを政府も認めたあとに会社は同補償をやりなおすのか、二度と恐ろしい水俣病や工場公害を引き起こさないためにどういう対策を立てるのか、会社と地域社会の関係はどうあるべきかなど大事な問題がたくさん残っている。江頭社長

がこれまで“水俣に異常な事態が起きている”とか“患者補償で地元が騒げば工場を引き揚げるぞ”とか発言したことは会社が地域社

会との関係をどう考えているかを示すものであり、水俣病が起きてはならなかったように会社と水俣の地域社会の関係もこれではいけないと思う。会社は水俣病患者遺族の人たちに十分な補償をするなどキチンとあとしまつをして、しっかり工場を建て直し町とともに繁榮する会社になつてほしい」と

言っている。

またチツソの再建五カ年計画の内容も説明し「水俣工場の再建計画はいわゆる合理化によるもので全工場的大幅縮小は免れず新規事

業の開発についても具体的な計画はまだ立っていない現状で今後は市民の意見を大いに反映させていくべきである」と強調している。